

第 79 回有機合成化学協会関東支部シンポジウム 講演プログラム (並列版)

時刻	A 会場			B 会場			C 会場					
PC 接続 9:30-9:40	座 長	高尾賢一(慶大理工)			座 長	原口亮介(千葉工大)			座 長	久保由治(都立大院都市環境)		
9:40-9:45	座 長	(挨拶&発表・質問時の注意事項等)			座 長	(挨拶&発表・質問時の注意事項等)			座 長	(挨拶&発表・質問時の注意事項等)		
9:45-11:00	A01	フェノールとアルケン類の分子内酸化的芳香族求核置換反応の開拓	(慶大薬)○出口裕己、花屋賢悟、須貝威、東林修平	B01	銀/ThioClickFerrophos 錯体触媒を用いた Morita-Baylis-Hillman 付加体とアゾメチンイリドの不斉付加反応	(中大院理工)○井上綾菜、鈴木裕子、金本和也、福澤信一	C01	[6]及び[10]シクロパラフェニレンの正対する二か所をメタフェニレンに置換した新規大環状化合物の合成と構造	(東理大理、東工大化生研)○長野美夕、土戸良高、小坂田耕太郎、河合英敏			
	A02	ピリジン触媒とジボロンを用いた芳香族アルデヒド類のメタルフリーピナコールカップリングの開拓	(慶大薬)○安井将満、花屋賢悟、須貝威、東林修平	B02	イミノペプチドを用いた 1,3-双極子環化付加反応によるペプチドの N 末端修飾	(中大院理工)○町田陽佳、金本和也、福澤信一	C02	Bipyrene- and Bithiophene-Fused Chiral Cyclooctatetraenes and Their Chiroptical Properties	(Tokyo Metropolitan U., Kitasato U., Kindai U.) ○Islam Md. Rafikul, Tohru Nishinaga, Masashi Hasegawa, Yoshitane Imai, Ken-ichi Sugiura			
	A03	クラウンプロシアニジン類の合成研究:エピカテキンの位置選択的二量化に関する検討	(東工大理)○田中一誠、鈴木啓介、大森建、	B03	銅・銀塩複合触媒系を用いる N-キノリルアミドフェロセンの C-H アミノ化反応	(中大院理工)○堀川渚生、金本和也、福澤信一	C03	Push-pull 型橋かけスチルベン合成と橋かけによる光機能の変化	(東工大物質理工)○田中拓哉、岩井梨輝、下村祥通、小西玄一			
	A04	ピラナフトキノニ量体合成を指向したヘミアクチノロジンの合成研究	(東工大理)○星野大樹、安藤吉勇、大森建、鈴木啓介	B04	金(I)触媒およびパラジウム触媒を用いたイソオキサゾール 5 位修飾反応の開発	(東工大化生研)○津田正仁、盛田大輝、福原信太郎、中村浩之	C04	橋かけジスチルベンゼンの合成と固体蛍光	(東工大物質理工)○下村祥通、田中拓哉、岩井梨輝、小西玄一			
	A05	抗生物質クワトロミシン類の合成研究:多置換シクロヘキサン部の立体選択的構築に関する検討	(東工大理)○鎌谷耕平、鈴木啓介、大森建	B05	ペルフルオロ酸無水物を用いたアルケンおよびアルキンのビスペルフルオロアルキル化反応の開発	(理研)○田上拓磨、青木雄真、河村伸太郎、袖岡幹子	C05	共役拡張橋かけスチルベン液晶の合成	(東工大物質理工)○岩井梨輝、小西玄一			
PC 接続 11:00-11:10	座 長	大森 建(東工大理)			座 長	永島佑貴(東工大物質理工)			座 長	小西玄一(東工大物質理工)		
11:10-12:10	A06	アコニチンの 7 員環および 5 員環セグメントの縮合	(慶大理工)○小林映月、綿貫友亮、吉岡聡一朗、門屋勇輝、中田雅也、犀川陽子	B06	硫黄原子上の脱離基を選択的に変換する非対称ジスルフィド合成法の開発	(中大院理工)○渡邊時春、浅沼隼人、金本和也、福澤信一	C06	オリゴチオフェン置換 π 拡張アミノロポン配位子の合成と銅錯体の性質	(都立大院理、横国大院環境情報)○橋口兼人、西長亨、大谷裕之、伊與田正彦、杉浦健一			
	A07	シンビオイミンの全合成を志向した、ヒドロキノリン骨格の官能基選択性非依存的構築法の開拓	(慶大薬)○藤田理愛、花屋賢悟、須貝威、東林修平	B07	ハロゲン結合供与体の収束的合成法の開発	(千葉工大院工)○道井翔太、原口亮介	C07	アントラセンを導入した 3 種類の平面型ピリジン誘導体の合成、光反応および分光学的性質	(芝浦工大院理工)○一杉礼央、佐々木達也、Gary James Richards、堀頭子			
	A08	Gem-ジイソプレニル構造をもつ天然キサントン zeyloxanthone の全合成	(東京薬大薬)○小林諒真、渡部結、藤本裕貴、松本隆司	B08	ハロゲン結合供与型触媒によるアルデヒドのシリルシアノ化反応	(千葉工大院工)○西尾和優、鳥田康樹、原口亮介、福沢信一	C08	イミン交換を利用したモノイミン架橋型ロタキサン構造修飾	(東京理大理)○木下幹人、仲井進之介、河合英敏			
	A09	連続的渡環ラジカル環化反応を用いたステルヒルスチンの合成研究	(慶大理工)○野村亮太、小松大佑、小椋章弘、高尾賢一	B09	アミン類を用いたクロロトリアゾリウム塩の芳香族求核置換反応	(千葉工大院工)○加瀬太也、原口亮介	C09	アリールセラニル置換ヒドラジン介在型ホウ素錯体の合成:三重項-三重項消滅型アップコンバージョンへの応用	(都立大院都市環境)○長谷川椋平、岩切星慈、久保由治			

昼食

時刻	A 会場			B 会場			C 会場		
PC 接続 12:50-13:00	座 長	松本隆司(東京薬大薬)		座 長	澤野卓大(青山学院大理工)		座 長	安井英子(工学院大先進工)	
13:00-14:00	A10	ロバタミド類の合成研究	(慶大理工)○安井蒼一郎、番匠祥奈、長島義之、岡田勇斗、中筋瑛子、林香奈、佐藤隆章、千田憲孝	B10	パラジウム触媒とアリル炭酸エステルを用いたプロピルケトンの脱水素化を経る芳香環形成反応	(東京工科大工)○上野聡、小池健太、長畑祥子、河崎雄大	C10	光を利用したヘテロ芳香環のシリルホウ素化反応の開発	(東工大物質理工)○石垣信穂、田中仁、永島佑貴、田中健
	A11	カリシフィリン B の合成研究	(慶大理工)○岩本青空、武井孝也、仲野暦、佐々木啓二、小林将一朗、徳山絢子、佐藤隆章、千田憲孝	B11	新規面不斉フェロセン型モノホスフィン配位子の合成とその性能評価	(中大院理工)○坂井傑、金本和也、福澤信一	C11	赤色光を用いた Barton 脱炭酸的官能基化反応の開発	(慶大理工)○山岡光平、山本拓樹、柴田耕平、高尾賢一、小椋章弘
	A12	パクリタキセルの合成研究:オキセタン環の新規構築法の開発	(慶大理工)○野口嵩史、飯山翔太、佐藤隆章、千田憲孝	B12	ホモアレニルボロン酸エステルの新規合成法開発	(東農工大院工)○坂本良太、永田亜希子、小田木陽、長澤和夫	C12	イソプロピルアルコールを水素原子供与体を用いたチタン触媒によるベンジルアルコール類の光脱ヒドロキシニ量化反応の開発	(東工大理工)○住山恵一、鳥海尚之、岩澤伸治
	A13	クラジェニセリン D の全合成研究	(東大院薬)○張可樹、長友優典、井上将行	B13	CF ₂ H ポレートを用いる鈴木-宮浦反応の開発研究	(東工大物質理工)○小長谷翔、伊藤繁和	C13	マグネシウムアルキリデンカルベノイドの 1,2-転位の反応機構	(東京理大院理)○関口琴、木村力
PC 接続 14:00-14:10	座 長	犀川陽子(慶大理工)		座 長	金本和也(中央大理工)		座 長	秦 猛志(東工大生命理工)	
14:10-15:10	A14	イリジウム触媒を用いたプロリン選択的なペプチド主鎖修飾法の開発	(慶大理工)○小川博栄、高橋芳人、森達哉、吉井梨紗、大石毅、佐藤隆章、千田憲孝	B14	ロジウム触媒を用いたビフェニル架橋トリインの分子内[2+2+2]および[2+1+2+1]付加環化反応	(東工大物質理工)○森田楓人、木下涼香、花田恭一、永島佑貴、田中健	C14	桂皮酸エチル誘導体とアクリル酸メチルのマグネシウム還元カップリング反応による非対称アジピン酸エステルの合成	(長岡技科大院工)○森章裕、森居拓、張嘉武、倉持圭佑、張田原、前川博史
	A15	ケミカルスペースの開拓を志向した三次元骨格の新規構築反応開発	(東工大生命理工、ピッツパーグ大、東工大化生研)○植田大樹、Peter WIPF、中村浩之	B15	ロジウム触媒を用いた[2+2+2]付加環化反応による軸不斉スチレンのエナンチオ選択的合成と反応機構解析	(東工大物質理工)○横瀬大典、永島佑貴、木下涼香、田中健	C15	様々な芳香族ジエステルの選択的還元にも最適した還元剤の検討	(工学院大先進工)○岡野敬亮、安井英子、南雲紳史
	A16	ルテニウム触媒による反応活性種の生成とマウス体内でのがん治療への利用	(東工大物質理工、理研、カザン大)○六車共平、Ahmadi Peni、張宗哲、田中克典	B16	イリジウム触媒を用いたビフェロセン架橋ジインの[2+2+2]付加環化反応	(青学大理工)澤野卓大、○村田佳代、須崎智明、浦沢和希、武内亮	C16	キラルリン酸を用いたトリフルオロアルキニルケイミンに対する複素環化合物のエナンチオ選択的 Friedel-Crafts アルキル化反応	(学習院大理)○有賀紅葉、鈴木理矩、内倉達裕、秋山隆彦
	A17	がん代謝物との反応を基盤とするプロドラッグ法	(東工大物質理工、理研、カザン大)○Ambara R. Pradipta、寺島一輝、田中克典	B17	イリジウム触媒を用いた 1,2-ジカルボニル化合物の不斉アリル化反応	(青学大理工)澤野卓大、○後藤祐汰、鈴木菜月、武内亮	C17	カルバモイルボランからの(アミノ)(ボリルオキシ)カルベンの生成とその反応	(学習院大理)○石田健人、草間博之
特別講演 1 15:30-16:25	座 長	中村浩之(東工大化生研)							
	S01	大環状ラクトンおよびラクタム類の全合成ならびに生命現象解析ツールとしての有機合成化学	(東理大理)椎名勇						
特別講演 2 16:30-17:25	座 長	田中 健(東工大物質理工)							
	S02	フォトレドックス触媒反応:フルオロアルキル化反応と高還元力触媒の開発	(東工大化生研)穂田宗隆						
中止:懇親会 (大学食堂)									